

真壁上下あき工法（A工法）公開実験のお知らせ

2016年3月14日

名古屋工業大学／建築・デザイン工学科

井戸田研究室

実験目的

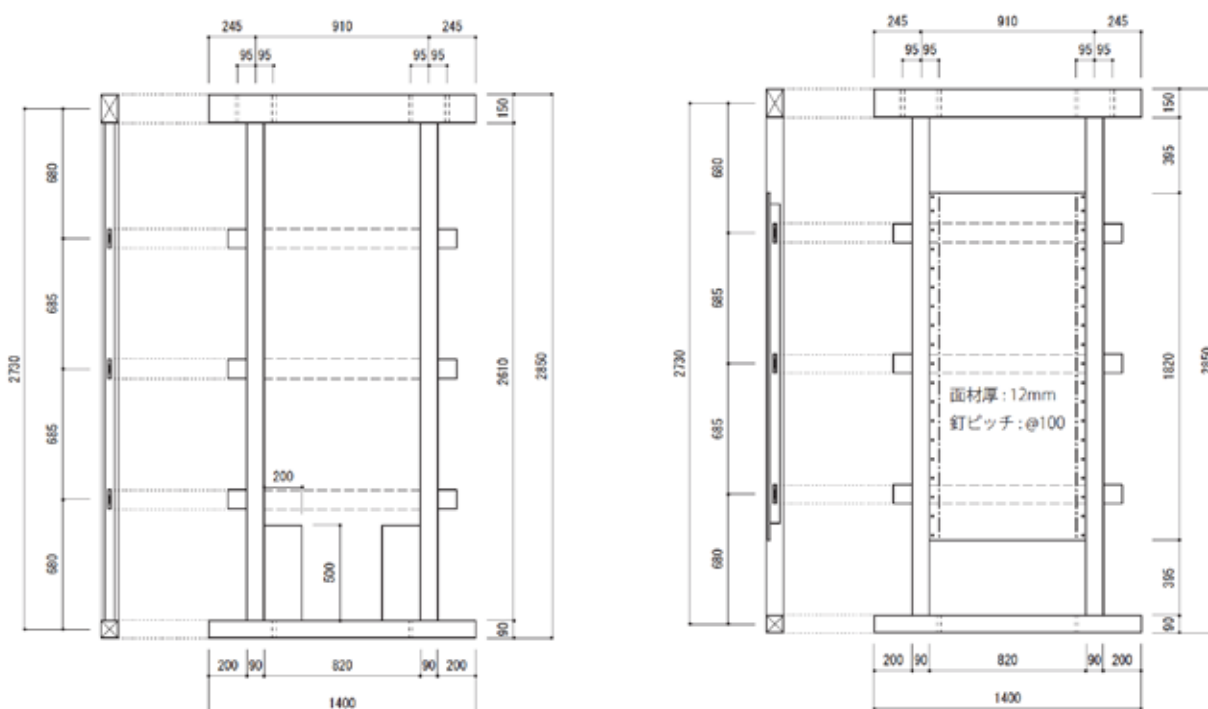
低価格な木造住宅の耐震補強工法の開発は、大地震時の人的被害低減のために不可欠な課題の一つである。本実験は、すでに愛知県内で2,000件以上の施工実績を持つA工法のバリエーションの一つとして、土壁に真壁構法で面材を施工した際に柱脚部にホールダウンアンカーを施工するために土壁を一部掻き落としたものを想定した試験体である。

実験概要

試験体は下記に示す試験体1、試験体2の2体を予定（変更の可能性あり）。

公開実験日程と場所

- ・ 3月30日（水） 午前10：00～11：00（試験体1）
- ・ 3月31日（木） 午前10：00～11：00（試験体2）
- ・ 場 所：名古屋工業大学建築系構造実験室（名古屋市昭和区御器所町、正門入って左側駐車場横）



試験体1 柱脚ホールダウンアンカー用に土壁を切り欠いた場合の性能を検証します

試験体2 上下あきの土壁＋アルミアングルを用いた真壁上下あき構法の性能を検証します。

<問い合わせ先>

名古屋工業大学／建築・デザイン工学科 井戸田秀樹

Tel&Fax：052-735-5517、E-mail：idota@nitech.ac.jp